

北海道医療大学看護福祉学部学会 第17回学術大会のご案内

『市民とともに育む看取りの文化』

日本は現在、超高齢化社会を迎えています。高齢化に伴い、年間140万人の人が亡くなる多死社会となり、2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に達する頃を見越して、看取りの場所の確保や終末期医療の在り方が課題となっています。しかし、看取りの課題は医療や法制度だけではなく、人々の生と死のとらえ方や、人々が生きてきた地域に対する考え方、いわば文化の中で議論されるべきものだともいえます。また、2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の影響の中で、家族同士も自由に会えなくなり、医療機関や施設では、看取りの場面でも面会を制限せざるを得ないといった現実に向き合っています。今だからこそ、地域の中で望む形で人生を終えること、看取ること、サポートすることの価値をもう一度問い直し、今後どうあればよいのかを考えることが必要だと考えます。保健医療福祉、教育に係わる方はじめ市民の皆様と共に考え、語り合い、有意義な時間としたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

第17回学術大会長 竹生 礼子（北海道医療大学看護福祉学部）

1. 日 時 2021年9月11日(土) 10:00～16:30

2. 会 場 ZoomによるWeb開催

3. プログラム

【午前の部】（北海道医療大学看護福祉学部同窓会セミナー、北海道医療大学公開講座 共催）

10:10～12:00 講演『写真が語る、いのちのバトンリレー

～在宅看取りの現場から あたたかい死を考える～』

講師：國森 康弘（フォトジャーナリスト）

【午後の部】

12:00～12:40 総 会

13:00～15:00 シンポジウム『市民と多職種で取り組む看取りの文化の醸成』

シンポジスト：佐藤 明子（北海道医療大学訪問看護ステーション 訪問看護師）

内藤 麻生（訪問看護ステーションつばみ 理学療法士）

大澤 俊信（NPO法人 ビヨルクとうべつ 理事長 風街カフェ主宰）

泉水 康之（特別養護老人ホーム サポーティ・もみじ台 施設長）

座長：内ヶ島伸也・池森 康裕（北海道医療大学看護福祉学部）

15:10～16:30 研究発表（オンライン 口頭発表のみ）

4. 参加費・参加申し込み期間

事前申し込み：会員1,500円、非会員2,000円

（午前の部のみ参加：無料）

* 学生（大学院学生を除く）無料（必ず事前にお申込みください）

参加申し込み期間 2021年5月10日(月)～9月3日(金)

5. 研究発表申込期間 2021年5月10日(月)～6月25日(金)

※事前参加申込および研究発表申し込み方法の詳細は、学会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先・申し込み先

北海道医療大学看護福祉学部学会 第17回学術大会実行委員会

Email: nsgakujyutu@ml.hoku-iryo-u.ac.jp（大会事務局）

看護福祉学部学会ホームページ: <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/>

